みんなで祝おう！武豊町制60周年

記念事業 総額6177万円

●衣浦みなとまつり花火大会

開 催 日：7月26日（土）
（予備日　27日（日））
開催場所：衣浦港武豊北ふ頭沖合海上

●（仮称）TAKETOYOティーンズ・ミーティング

開 催 日：8月頃
開催場所：武豊町議会　議場
いわゆる「子ども議会」といわれるもので、児童会・生徒会による「スマイルネットワーク」を中心に企画、運営します。

●第5回武豊ふれあい山車まつり

開 催 日：10月12日（日）
（予備日　13日（祝日））
開催場所：ゆめたろうプラザ
「武豊ふれあい山車まつり」は、5回目を迎えます。5年に一度、11台の

3月定例会のあらまし

3月定例会は、3月4日から25日までの22日間の会期で開催しました。

平成26年度一般会計、特別会計など7会計をはじめ、平成25年度補正予算、条例の一部改正、監査委員および教育委員会委員の同意案など32件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

一般質問では、12人の議員が町政の問題をただしました。

武豊町のあゆみ

武豊という名は、明治11年に長尾村と大足村が合併した際、両村の氏神（武雄神社、豊石神社）の頭文字をとり名づけられ、武豊村となりました。

武豊町は、明治24年に町制を施行し、昭和

山車が集結する勇壮で盛大なイベントです。

●吹奏楽のひびき

（NHK全国放送公開番組）

開催日：11月22日（土）

開催場所：ゆめたろうプラザ 輝きホール

武豊町が誇る文化施設 ゆめたろうプラザ 輝きホールから、吹奏楽の持つ魅力を届けます。

●自衛隊音楽コンサート

開催日：未定

共催事業 50万円

●150人の和太鼓フェスティバル

開催日時：11月24日（祝）

開催場所：ゆめたろうプラザ 輝きホール

武豊町で活動する和太鼓グループ5団体が集結。力強い演奏が響きます。

「げんき音頭」を製作中

『武豊ふれあい音頭』ができてから35年以上が経ち、観光協会が事業主体となり、新しい『音頭』を製作中。歌詞は児童生徒、作曲は、『武豊ふれあい音頭』の野崎真一さん、歌手は藤川まり子さん。

29年に富貴村と合併し現在の武豊町が誕生しました。（昭和の大合併）

武豊町では、町制施行の周年として、記念事業を行っており、平成26年で60年となります。

一般会計

過去2番目の大きな予算

継続事業と消費税増税による特例措置が要因

平成26年度予算額

会計名		平成26年度当初予算額	対前年度増減額	対前年度比
一般会計		135億8500万円	10億7200万円	8.6%増
特別会計	国民健康保険事業	41億7534万円	2億2059万円	5.6%増
	後期高齢者医療	3億8918万円	2399万円	6.6%増
	介護保険事業	23億8673万円	1億7435万円	7.9%増
	農業集落排水事業	7493万円	1077万円	16.8%増
	下水道事業	12億7364万円	−7297万円	5.4%減
	小計	82億9982万円	3億5673万円	4.5%増
合計		218億8482万円	14億2873万円	7.0%増

会計名		平成26年度当初予算額	対前年度増減額	対前年度比
水道事業会計	収益的収入	8億7780万円	1億6294万円	22.8%増
	収益的支出	7億2095万円	2139万円	3.1%増
	基本的収入	5150万円	906万円	21.3%増
	基本的支出	2億9149万円	−1億2942万円	30.7%減

＊1　収益的収支…経営に伴い発生が予想される収入と費用
＊2　資本的収支…将来に備えて行う建設改良などの支出とその財源となる収入
＊3　不足分は損益勘定留保資金（積立金）などで補てん

予算の内容

平成26年度の予算規模は、一般会計をはじめ、5つの特別会計を合わせて218億8482万円となり、前年度に対し、14億2873万円、7・0%増となりました。

一般会計は、総額135億8500万円で、前年度に対し、10億7200万円、8・6%増となり、過去2番目の大きな予算となりました。

これは、継続事業である知多武豊駅東土地区画整理事業費、地域交流施設整備工事、中山保育園改築工事の合計12億3502万円、また、来年度は、消費税増税による特例措置である臨時福祉給付金給付事業費、子育て世帯臨時特例給付金給付事業費、愛知県子育て支援減税手当給付事業費の合計2億631万円のほか、町制60周年記念事業に約6000万円などの臨時的支出があり、大きな予算となりました。

平成26年度予算では、町税収入の回復が見込めないことから、大きな歳入不足が生じ、臨時財政対策債を含む町債（借金）の借入れを12億3540万円、財政調整基金（貯金）の取り崩しを10億6673万円、合わせて23億213万円の財源措置を予定しました。

特別会計では、国民健康保険事業が5・6%増、後期高齢者医療が6・6%増、介護保険事業が7・9%増で、いずれも給付費などの伸びが要因です。

農業集落排水事業は、新規の管渠（かんきょ）工事費の増加により16・8%増、下水道事業は、雨水排水対策事業の縮減などにより5・4%減で、下水道事業以外の特別会計は、いずれも増額となっています。

水道事業会計は、平成25年度事業の壱町田統合ポンプ場新設工事の完了により工事費が減少し、収益的および資本的支出を合わせた総額は、前年度に対し、1億803万円、9・6%減となりました。

一般会計予算

135億8500万円の内訳

歳入 <財源>

- 町　　税 → 町民税、固定資産税、法人町民税など
- 町　　債 → 町の借金
- 国庫支出金 → 福祉、教育、医療、子育て、道路整備など
- 繰　入　金 → 町の貯金取崩し
- 県 支 出 金 → 福祉、教育、医療、子育て、環境対策など
- 交付税・その他交付金 → 地方交付税や地方消費税交付金など
- 諸収入 → 町税延滞金や検診料、講座参加料など
- 使用料・手数料 → 保育園や各施設使用料及び諸証明手数料など
- 分担金・負担金 → 保育所運営費保護者負担金など

歳出 <使いみち>

- 民　生　費 → 高齢者・子どもの福祉など
- 土　木　費 → 道路・公園整備など
- 教　育　費 → 小中学校・町民会館など
- 総　務　費 → 役場庁舎整備など
- 衛　生　費 → ゴミ処理・病気予防など
- 公　債　費 → 借金返済
- 消　防　費 → 消防・防火水槽整備など

過去の一般会計予算額と決算額

会　計　名	予　算　額	決　算　額
平成21年度	124億6100万円	124億6080万円
平成22年度	147億2300万円	137億1520万円
平成23年度	126億8000万円	128億1990万円
平成24年度	127億7500万円	122億1486万円
平成25年度	125億1300万円	—
平成25年度	135億8500万円	—